

令和6年度

NPO法人いそどり・みんなのみち

活動報告書



2024.4.1 - 2025.3.31





令和 6 年度の事業概要

➡ 趣旨

こどもたちが主体的に企画・提案・実施を行い、「出番・役割・承認」の機会を創出すること。
様々な社会体験活動を通じて、情操教育や志教育を推進するとともに、他者とのつながりや世代間交流を深め、コミュニティの形成を通じた地域活性化を図ること。

➡ 課題

子育て世代を取り巻く環境が深刻化している。
少子化や貧困問題はもちろんのこと、
年々増加しているのが児童虐待。
石巻市や東松松島市においても、日々児童虐待
の相談や通報が後を絶たない。

➡ 目標

子どもたちが健やかに成長し、多様な社会的活動に
参画できる機会を確保しながら、
子どもたちの孤立を防ぎ居場所となるようサポート
する。

事業内容

『まちづくり』

- ・ 奥松島夏祭り運営協力
- ・ 東松島市こどもドまんなかフェス2024
- ・ ふあみスポ
- ・ 創作おばけ屋敷

『和装教育』

- ・ 国際交流
- ・ 日本文化継承

『こども実行委員会』

- ・ 第二回東松島市こども作品
- ・ 志合宿
- ・ こどものまち「キミいろタウン」2024

『地域福祉』

- ・ サードプレイス「キミいろ」





『まちづくり』

奥松島夏祭り運営協力

東日本大震災により甚大な被害を受けた野蒜地区の跡地に整備された「奥松島クラブハウス」を運営する株式会社アークリンクからの依頼を受け、当法人では、謎解き、eスポーツエリア（さぶかる部協力）、ウォーターエリア（こども実行委員担当）を担当した。

当日は、会場内を周回するよう、宝箱の中に書かれた「謎解き」、こどもたちが東松島市教育委員会で実施しているデジタルメディアコントロール（通称：でめこん）に従ってゲームを楽しむ「eスポーツエリア」、こども実行委員プロデュースによる「ウォーターエリア」を運営した。

とりわけ、ウォーターエリアでは、ウォータースライダーや簡易プール、水鉄砲合戦など、参加者が水に親しみながら楽しめる複数のアクティビティを実施し、来場した地域住民（特に震災により高台の災害公営住宅に転居した世帯）に対し、水遊びを通じて水への親しみや楽しさを再認識してもらうことで、水に対する恐怖心の軽減を図るとともに、震災によって被災した地域における心の復興および地域活性化の寄与に努めた。

ー実施日ー

ー内容ー

④ R6.8.8

- ・ 奥松島クラブハウス「夏祭り」前日準備
- 謎解き、eスポーツエリア、ウォーターエリアの設営

④ R6.8.9~8.10

- ・ 奥松島クラブハウス「夏祭り」
- 両日、実施時間内に雨に見舞われたが、当法人が担当した各エリアでは、2日間通して多くの来場があった。
謎解き : 220名
eスポーツ : 231名
ウォーターエリア : 250名

活動の様子

奥松島夏祭り運営協力

『まちづくり』





『まちづくり』

東松島市 こどもドまんなかフェス2024

地域事業所協力のもと、大型段ボール迷路を設置し、被災地域の住民や学生ボランティアと連携して、ボードゲーム、eスポーツ、出張サウナ、謎解き体験（東北文化学園大学協力）、こども縁日（こども実行委員担当）などの体験型ブースを展開した。

本事業を通じて、子どもたちは地域住民と協働しながら地域イベントを創り上げる経験を重ねることで、経済活動や地域交流の仕組みに対する理解を深めるとともに、将来のまちづくりへの参画意識を醸成した。

さらに、震災の影響を受けた地域住民にとっても、子どもたちの活動を通じて地域のつながりや賑わいを実感する機会となった。

【段ボールをご提供いただいた事業所】

トイザらス石巻矢本店、SUNDAY矢本店、DAISOイオンタウン矢本店、ドン・キホーテ石巻街道矢本店、ツルハドラッグ矢本店、薬王堂東松島矢本店、ダイシン矢本店、

ー実施日ー

ー内容ー

➡ R6.9.14

- ・ 東松島市ドまんなかフェス2024 準備①
- 企画内容について

➡ R6.9.15

- ・ 東松島市ドまんなかフェス2024 準備②
- 各エリアに分かれ準備物の作成

➡ R6.9.21

- ・ 東松島市ドまんなかフェス2024 準備③
- 会場設営等、前日準備

➡ R6.9.22

- ・ 東松島市ドまんなかフェス2024
- 台風に見舞われ大雨の中での実施だったが、約300名が参加した

活動の様子

東松島市こども
ドまんなかフェス2024





『まちづくり』

ふあみスポ

初心者向けのストリートダンス教室、テニス教室など多様なスポーツ・運動プログラムを提供し、未就学児から高校生とその保護者を中心に、多くの参加があった。参加者からは「親子で体を動かすきっかけになった」「初めてのスポーツでも楽しく参加できた」との声が多く、体験を通じて親子の愛着形成や交流の輪が広がる効果が見られた。

また、地域における子育て世代同士のつながりが生まれ、孤立感の軽減や情報交換の場としても一定の役割を果たした。学校や地域の枠を超えた参加が可能な場として、子どもたちにとっての居場所の創出にもつながっている。

今後は、地域ボランティアや学生の参画促進を図るとともに、開催場所や時間帯の工夫、未経験者でも安心して参加できるプログラム構成の充実を進め、より多くの家庭が継続的に参加できる体制を整えていきたい。

ー実施日ー

➔ R6.10.20

ー内容ー

初心者向けストリートダンス教室
- 12名が参加

➔ R7.3.16

初心者向けテニス教室
- 35名が参加

活動の様子

ふあみスポ





『まちづくり』

創作おばけ屋敷

おばけ屋敷創作団体「バケラッタ」と共催し、蛇田地区放課後児童クラブうーるー、奥松島クラブハウス「秋祭り」にて、創意工夫を凝らして企画・制作・運営を行った創作おばけ屋敷を実施した。うーるーでは、子どもたちにおばけ屋敷の小道具を作るワークショップや配役の演技指導も行い、当日は、運営する子ども及び施設職員が中心になって、誘導、演出、おばけ等の役割を分担し、多くの来場者を驚かせた。

秋祭りでは、こども実行委員が中心になって配役し運営を行った。

本イベントは、非日常的な空間を通して、参加者にとって地震や不審者など突発的なアクシデントへの備えや対応力を育む機会となった。

ー実施日ー

ー内容ー

➔ R6.9.30

蛇田地区放課後児童クラブうーるーおばけ屋敷
- 小道具づくりワークショップ。21名が参加

➔ R6.10.12

・ 蛇田地区放課後児童クラブうーるーおばけ屋敷
- 前日準備

➔ R6.10.13

・ 蛇田地区放課後児童クラブうーるーおばけ屋敷
- こども、職員が配役し実施。
約200名が参加

➔ R6.11.09

・ 奥松島クラブハウス「秋祭り」前日準備
- 会場設営等

➔ R6.11.10

・ 奥松島クラブハウス「秋祭り」
- 施設内にある1軒家を使用し実施。
約250名が参加

活動の様子

『まちづくり』

創作おばけ屋敷





『和装教育』

国際交流

公益社団法人仙台ユネスコ協会、東北大学グローバルラーニングセンターと連携し、留学生50名以上を対象にした和装体験プログラムを実施した。参加者は日本の伝統衣装である着物に袖を通し、所作や礼儀作法、日本文化の背景についての解説を受けたほか、記念撮影を通じて文化的な理解と親しみを深めた。

体験後には「日本文化に直接触れられたことが嬉しい」「母国でも紹介したい」といった声が多く寄せられ、異文化理解の促進とともに、日本文化の魅力を発信する貴重な機会となった。今後も継続的に国際交流の場を提供し、多文化共生社会の実現に貢献していく。

ー実施日ー

ー内容ー

➡ R6.12.19

第1回 東北大学日本語ショートプログラム-留学生
着物着付け体験講座
- 36名が参加

➡ R7.1.21

第2回 東北大学日本語ショートプログラム-留学生
着物着付け体験講座
- 62名が参加



活動の様子 国際交流

『和装教育』





『和装教育』

日本文化継承

日本の伝統文化を次世代へ伝えることを目的とし、未就学児から高校生を対象にした「着物の着付け教室」および「日本舞踊教室」を全5回実施した。参加した子どもたちは、着物の扱いや礼儀作法、美しい所作を体験し、日本文化に対する理解と興味を深める機会となった。日本舞踊では、音楽に合わせた表現を通じて想像力や表現力が育まれ、保護者を招いた発表の場では、学びの成果を自信を持って披露する様子が見られた。

本事業は、家庭や学校では得がたい文化的体験を提供するとともに、世代を越えた交流を生む契機ともなった。今後は、保護者や地域住民の参画を広げ、着物文化の魅力を伝える発表の場や、外国人との交流機会を設けるなど、地域に根差した日本文化の継承と発信をより一層推進していきたい。

ー実施日ー

ー内容ー

➡ R6.11.23

着物の着付け：着物文化や着物（種類、帯、紐）等の説明、礼法や着付けの仕方

日本舞踊：足の動かし方、手の動き、扇子の使い方
- 20名が参加

➡ R6.12.1

着物の着付け：着物の着方の手順、着物の畳み方

日本舞踊：手の動きや足の動き、扇子の使い方
- 21名が参加

➡ R6.12.22

着物の着付け：一連の動作、畳み方

日本舞踊：扇子を使いながら、曲に合わせた舞踊
- 13名が参加

➡ R7.1.19

着物の着付け：一人で着物を着れるよう反復練習

日本舞踊：扇子や傘を用いた踊り方
- 15名が参加

➡ R7.1.26

着物の着付け：一人での着付け練習、畳方

日本舞踊：保護者向けの発表会
- 14名が参加

活動の様子

『和装教育』

日本文化継承





『こども実行委員会』

こども実行委員会

こども実行委員による企画会議。こどもたちが、まちの資源を活かしながらどのような事業をしたいか話し合い、準備を進めた。今年度新たに2期生が34名が加入し、43名で行った。

ー実施日ー

ー内容ー

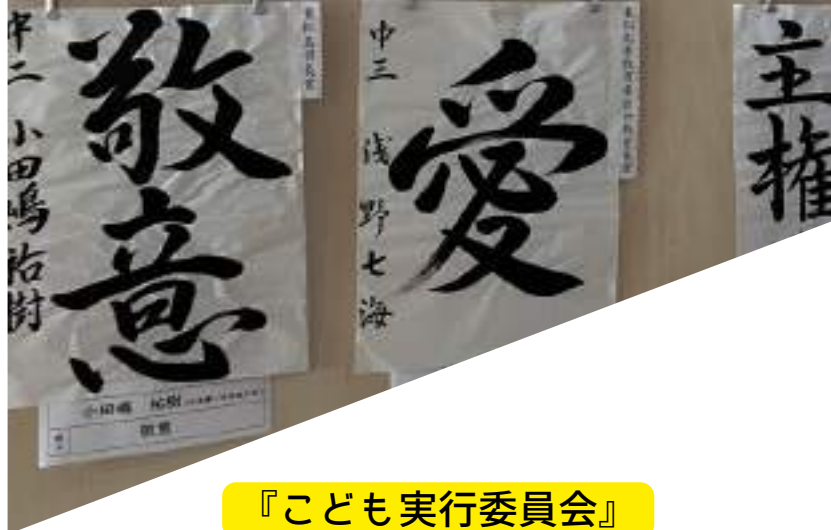
- | | |
|------------|--|
| ➡ R6.6.2 | • こども実行委員2期生説明会
- 45名が参加。オリエンテーションも行った |
| ➡ R6.7.14 | • R6年度こども実行委員会①
- 年間事業について |
| ➡ R6.7.27 | • R6年度こども実行委員会②
- 第二回東松島市こども作品展、奥松島夏祭り、おばけ屋敷の実施について |
| ➡ R6.9.14 | • R6年度こども実行委員会③
- 東松島市こどもドまんなかフェス、おばけ屋敷について |
| ➡ R6.9.15 | • R6年度こども実行委員会④
- 東松島ドまんなかフェスの企画会議および準備 |
| ➡ R6.10.20 | • R6年度こども実行委員会⑤
- 奥松島秋祭り、お化け屋敷について |
| ➡ R6.12.1 | • R6年度こども実行委員会⑥
- 第二回東松島市こども作品展、志合宿について |
| ➡ R6.12.15 | • R6年度こども実行委員会⑦
- 志合宿、こどものまち「キミいろタウン」について |
| ➡ R7.3.9 | • R6年度こども実行委員会⑧
- こどものまち「キミいろタウン」の企画会議および準備 |
| ➡ R7.3.15 | • R6年度こども実行委員会⑨
- こどものまち「キミいろタウン」の企画会議および準備 |
| ➡ R7.3.16 | • R6年度こども実行委員会⑩
- こどものまち「キミいろタウン」の企画会議および準備 |
| ➡ R7.3.23 | • R6年度こども実行委員会⑪
- こどものまち「キミいろタウン」の企画会議および準備 |

活動の様子

『こども実行委員会』

こども実行委員会





『こども実行委員会』

第二回東松島市こども作品展 作品テーマ「大切なもの」

作品を通して、児童生徒の自己肯定感や自己有用感を高め、将来への意欲、豊かな心を育むことを目的に、東松島市内の小・中学生2,913を対象に作品（書写・絵画）を募集し、表彰と展示を行った。また、こども実行委員の中から4名がこども審査員長となり、審査・表彰を行った。

作品には、東日本大震災に関連する内容（震災により失われた家族への思い、震災から14年を経た現在の心情等）を表現した作品も多く見られ、地域住民にとって心の復興を促す契機となった。

ー実施日ー

ー内容ー

➔ R6.7.19～8.23

- ・ 第二回東松島市こども作品展 作品募集
- 市内小・中学校11校に募集

➔ R6.8.3～8.28

- ・ 第一回東松島市こども作品展 展示会
- 全220点を展示

➔ R6.9月～11月

- ・ 共催、後援機関による特別賞二次審査
- 市長、教育長、松島基地司令、ともだち賞等

➔ R6.12.18

- ・ 第二回東松島市こども作品展 表彰式
- 特別賞に選ばれた45名を表彰

➔ R6.12.19～R7.1.13

- ・ 第二回東松島市こども作品展 展示会
- 全248点を展示

➔ R7.2.1～R7.2.23

- ・ 特別養護老人ホーム 矢本赤井の里にて
表彰作品を展示

共催：東松島市

後援：東松島市教育委員会、航空自衛隊松島基地、東松島市商工会、一般社団法人桃生郡医師会
東松島市小・中学校長会、東松島消防署、宮城県PTA連合会、株式会社石巻日日新聞社

第二回東松島市こども作品展





『こども実行委員会』

志合宿

こども実行委員を対象とした1泊2日の合宿で18名が参加。
市長からの講話等を通じて市政や地域社会の構造について理解を深めた他、被災した従業員との意見交換、市内の復興シンボルとなる道の駅や被災事業所等の視察を行うことにより、震災からの復興過程や地域課題についての認識を高めた。

また、宿泊を伴う共同生活を通して、他者との協調・助け合いの重要性を学ぶとともに、「働くこと」「地域に貢献すること」への意欲を喚起し、地域の担い手としての意識醸成を図った。

本事業は、子どもたちが被災地域の現状や課題に主体的に向き合う機会となり、自身の存在意義や将来の役割について考える中で、生きがいづくりや自己肯定感の醸成にも資する内容となった。

—実施日—

—内容—

④ R6.12.25

- 志合宿 1日目
- 出発前に事前研修を行い、株式会社木村土建の視察、東松島市長表敬訪問、道の駅東松島を見学。

④ R6.12.26

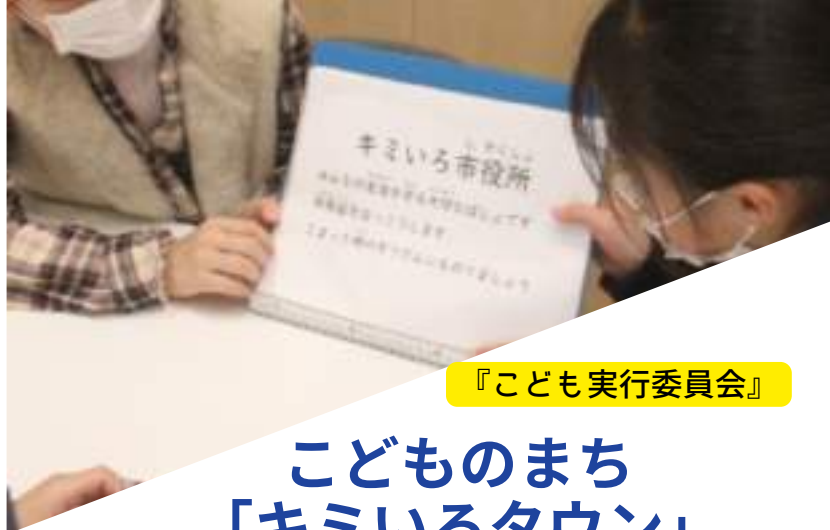
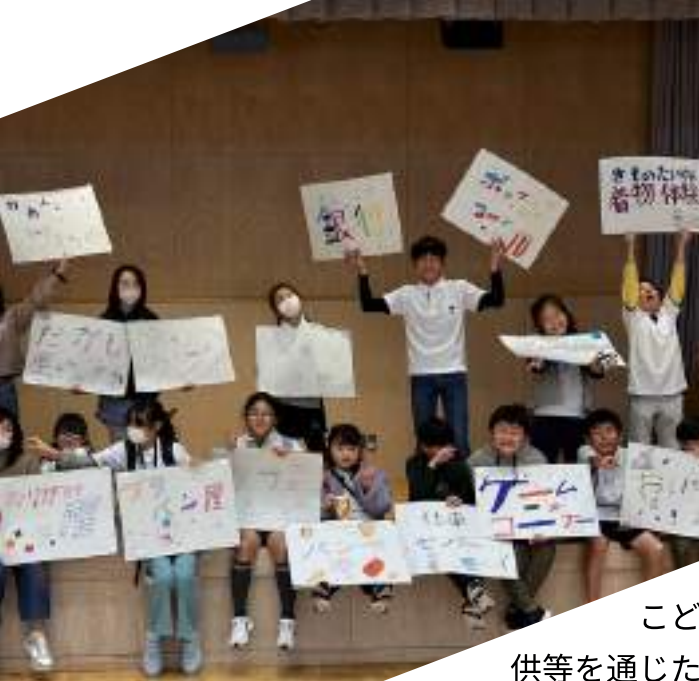
- 志合宿 2日目
- 石巻青果市場を視察。当初海岸清掃を予定していたが、強風のため中止となった。



活動の様子 志合宿

『こども実行委員会』





『こども実行委員会』

こどものまち 「キミいろタウン」

こども実行委員の企画・運営により、販売やサービス提供等を通じた模擬職業体験プログラムを実施した。使用通貨は専用通貨「イ〜ナコイン」とし、現金を使用しない形で経済活動の仕組みを学ぶ機会とした。本事業の実施にあたっては、保護者や学生ボランティア、被災地域の住民、自治会、地元企業、被災を受けながら個人で事業を営む地域事業者等、多様な主体の協力を得て実施された。

子どもたちが社会の仕組みや職業に対する理解を深めるとともに、創造力や行動力を育み、自己理解や将来の可能性の拡張につながった。こどもたちを中心とした地域全体での参画により、被災地域における地域連携や交流の促進にも寄与した。

ー実施日ー

ー内容ー

➔ R7.2.22

- ・ こどものまち「キミいろタウン」経営者説明会
- 保護者含む21名が参加

➔ R7.3.9

- ・ こどものまち「キミいろタウン」準備①
- 店の看板づくり、販売品・サービス内容について

➔ R7.3.15

- ・ こどものまち「キミいろタウン」準備②
- 販売商品づくり、街を走る車、電車づくり等

➔ R7.3.16

- ・ こどものまち「キミいろタウン」準備③
- 販売商品づくり、街の装飾品づくり

➔ R7.3.23

- ・ こどものまち「キミいろタウン」準備④
- 地域通貨づくり、市民証づくり等

➔ R7.3.29

- ・ こどものまち「キミいろタウン」準備⑤
- 会場設営、前日準備

➔ R7.3.30

- ・ こどものまち「キミいろタウン」
- 約280名が参加

活動の様子

『こども実行委員会』

こどものまち 「キミいろタウン」





『地域福祉』

サードプレイス「キミいろ」

学習支援、地域食堂、知育ゲーム、スポーツ、マッサージ、健康相談等、自治会と協力しながら集会所や地区センターで実施。こども実行委員が企画し運営した。自治会と協力することで地域内における持続可能なつながりの形成と福祉の基盤づくりを図った。

一実施日一

一内容一

➡ R6.6.29

- ・ サードプレイス「キミいろ」①
- 小松地区学習等共用施設で実施。27名が参加
学習支援、知育ゲーム、ボードゲーム、昼食、お茶会、
看護師による健康アドバイス、足裏診断

➡ R6.8.17

- ・ サードプレイス「キミいろ」②
- 横沼地区学習等共用施設で実施。34名が参加
夏休みの宿題支援、知育ゲーム、バレーボール、バスケ、サッカー、
昼食、お茶会、看護師による健康アドバイス、足裏診断

➡ R6.11.17

- ・ サードプレイス「キミいろ」③
- 柳の目西住宅集会所で実施。35名が参加
知育ゲーム、ボール遊び、昼食、パソコン体験、将棋、縄跳び、
ハンドマッサージ、お茶会、ビンゴ大会

➡ R6.11.24

- ・ サードプレイス「キミいろ」④
- 横沼地区学習等共用施設で実施。32名が参加
学習支援、知育ゲーム、バスケットボール、昼食、お茶会、縄跳び、
プログラミング、看護師による健康アドバイス、ハンドマッサージ

➡ R6.12.22

- ・ サードプレイス「キミいろ」⑤
- 赤井市民センターで実施。27名が参加
学習支援、知育ゲーム、バスケ、バレーボール、昼食、昔遊び（竹馬、工作）

➡ R7.2.9

- ・ サードプレイス「キミいろ」⑥
- 矢本西市民センターで実施。65名が参加
学習支援、チョコ作りWS、知育ゲーム、マッサージ、パソコン体験、バスケ
テニス、ドッチビー、バレーボール、昼食、大縄跳び、

➡ R7.2.16

- ・ サードプレイス「キミいろ」⑦
- 二反走地区集会所で実施。62名が参加
地域移住民とのミニゲーム大会、昼食、マッサージ、健康体操、お茶会

➡ R7.3.8

- ・ サードプレイス「キミいろ」⑧
- 横沼地区学習等共用施設で実施。27名が参加
知育ゲーム、ボードゲーム、バレーボール、昼食

➡ R7.3.16

- ・ サードプレイス「キミいろ」⑨
- 矢本西市民センターで実施。71名が参加
テニス体験、ひよっこステージ、スポーツ体験、昼食、マッサージ

活動の様子

『地域福祉』

サードプレイス 「キミいろ」



活動による成果

④ 活動の対象（防災・減災、環境、人）

こども実行委員の自己肯定感や自己有用感が向上し、地域課題に取り組む姿勢や社会的責任を自覚するようになった。

④ 地域社会、コミュニティ

- ・地域住民や保護者との交流が深まることで、多様な背景を持つ子どもたちにとって「安心・安全な居場所」や「自己表現の場」となり、孤立や不安の軽減になった。
- ・世代間や親子間のつながりが強化され、児童虐待の減少に寄与した。

④ 活動後の課題、今後の展望、感想

活動を通じて「こども実行委員」の参加者が増加し、昨年度以上の規模で子どもたちを中心としたまちづくりを展開することができた。地域イベントの企画・運営や広報活動などを通して、子どもたちは自ら考え、話し合い、役割を担う経験を重ねる中で、主体性や協調性、自己肯定感を着実に育んでいる。

一方で、共働き世帯やひとり親家庭の増加に伴い、家庭内での十分な関わりや学びの時間を確保しにくいという課題も顕在化している。また、学力競争や将来への不安、人間関係の悩みなどからメンタルヘルスに課題を抱える子どもも少なくなく、関係機関や保護者からの相談も年々増加傾向にある。


当法人の事業は、様々な背景をもつ子どもたちにとっての「もう一つの居場所」として機能しており、学校でも家庭でも得がたい社会経験と、安心して自己表現できる環境を提供している。今後は、この活動を地域により根付かせるとともに、年齢や特性に応じたグループの形成や、中高生の活躍の場づくり、学習・相談支援との連携強化を進める。

将来的には他地域のこども組織と連携し、子どもたちが地域社会の一員として意見を発信し、まちづくりに参画できる「子ども主体の社会モデル」の確立と全国展開を目指していく。



NPO法人 いろどり・みんなのみち

 代表理事 浅野 和久

 宮城県東松島市小松字沖砂利前 1 5 5

 <https://npo-irodori.com/>

 info@npo-irodori.com

 [irodori.michi](https://www.instagram.com/irodori.michi)



HP



IRODORI.MICHI